

2899回例会 2016年 1月 7日(木) Vol.26

<ビジター・ゲスト>

米山記念奨学生 フィ・クイン・チャン 様

《今月のお祝い》

会員誕生日	水村雅啓君 吉沢誠十君 宮崎正文君	宮寺成人君 齋藤栄作君 新井格君
夫人誕生日	大塚珠代様	後藤美智子様
結婚記念日	山根宏夫君 山岸義弘君	

★★★会長の時間

粕谷康彦会長



新年明けましておめでとうございます
春を思わせるような穏やかな好天に恵まれた新春を迎え、皆様どのようなお正月をお過ごしでしたでしょうか。核家族化が進んで久しい日本ではありますが、年末年始のひと時、つかの間の賑やかな三世代が同居されたご家庭も多かったと思われれます。日本人は古来から大家族での生活が普通でしたが、いつの日か老齢の夫婦だけの家庭が増えてしまいました。大勢の家族の中でこそ老後の不安も解消され

ると思われれます。又、二世代同居の家族の中でなくては、行事の継承というものは、続いているのかなくなっているのではないのでしょうか。日本人として神仏を守り受け継いでいくことの大切さ、難しさをつくづく考えた次第です。

今年の箱根駅伝は去年に引き続き青山学院大学が独走で、10時間53分25秒、2年連続2度目の総合優勝を果たしました。2位と3分4秒差でスタートした青学は、復路でも3人が区間賞の快走を見せ、往路に続き1度もトップの座を明け渡さなかった。1万メートル28分台の選手が11人という、かつてない高速集団で青学大の圧勝は、学生長距離界の更なる進化を予感させた。10人以上の学生が今春のリオデジャネイロ五輪代表選考会のマラソンを走る予定だという。箱根から世界へ羽ばたきます。

今月は職業奉仕月間です。職業奉仕とは各自の職業において、あるいは職業を通じて、幸せをもたらし、他人に尽くすことである。ロータリーの奉仕の本質はその職業奉仕から生まれ、会員の誰でもが身近に職場という舞台を持っている。ロータリーを樹木に例えれば、その根幹をなすものは職業奉仕である。最も多く奉仕するものは最も多く報われる。

この年度も半年を折り返しました。まだ沢山のプログラムが残っています。会員の皆様には一層のご協力をお願い致します。国際ロータリー第2570地区第3グループのIMが、2月27日(土)に入間市産業文化センターで行われます。ホストクラブは入間南ロータリークラブで、全員登録にてお願いいたします。

■ ■ ■ 会 員 卓 話 ■ ■ ■ 《日本とトルコについて》

齋藤金作会員



奇妙な経緯で卓話をすることになりましたが、新年早々、私如き老人が知らぬことについて喋らされることは相当な重圧であります。

さて、我々は毎月「友」を手にしますが、その縦書きを代表する読み物が巻頭に掲載の「スピーチ」欄であります。2013-8月号のこの欄は演題が「日本・トルコ友好の基礎」

「先人の偉業を後世に伝えるために」とあり、講演者は和歌山県串本町町長田嶋勝正氏であります。和歌山地区IMの基調講演要旨でありました。

私はこれを一読、大きな感動を覚えました。町長は最終章で「残すべき歴史を語り継ぐため」に串本では今映画を作ろうとしていると結ばれ、和歌山RCは「史上初、日本トルコ合作映画製作」にご協力下さいと呼びかけておられました。この呼びかけに対し、当時の忽滑谷社会奉仕委員長を通じて理事会への提案を要請、当時の友野会長以下理事会メンバー諸君も快く全面協力を了承されたもので、その節はどうもありがとうございました。

2年4ヶ月歳月の経過後、去る12月5日この作品は完成し、「海難1890」というタイトルの元、目出たく封切られました。私は即日1人鑑賞し、薄暗い客席のシートに身を任せ、周囲の誰にも憚るところなく、涙腺の開くに任せる一時を過ごして参りました。

話の最初に触れておきたいのは、遭難したトルコ軍艦エルトゥールル号の名の由来です。自分なりの憶測では、1遊牧民首領からオスマン国家形成の基盤を築いたエルトゥールル・ベイで、オスマン一世の父親の名が由来となっています。オスマン一世は父の跡を継ぎ、オスマントルコ族による強大なイスラム国家を建設したのです。

1. 1887年明治天皇は小松宮親王を名代としてトルコを表敬訪問させ、親王は皇帝アヴドゥルハミト二世に謁見さる
2. 1890年その答礼の意味を込めオスマン・パシャ提督以下600人超の大使節団日本訪問
3. 当初半年以上の滞在予定なるもコレラの流行等の理由により期間を3ヶ月短縮し帰国
4. 台風シーズンのため日本側は強く引き止めたが、9月16日串本町大島の檜野崎灯台沖合で嵐に遭遇、遭難、数度の水蒸気爆発、船は真っ二つ沈没。六百数十人は海に放り出される。海岸に打ち上げられた大半は黒焦げとなる
5. 村民は先ず、灯台に急を知らせ、出会った1人の遭難者に世界地図帳を見せトルコの人々であることを確認
6. 灯台守たちは沖村長に連絡 村長は全村民を動員 救出を開始展開。檜野地区60軒は食べられるもの持てるものすべてを供給。穀類・芋・卵すべての鶏(村では最重要な蛋白質源)を殺す。日夜を徹して救護、介助、男女の別なく裸になって遭難者を抱きかかえ、体を人肌で温める漁師達の独特の手法を用いて救助を続ける
7. 水辺から自分で断崖をよじ登って来た者は僅かの10数人、あとは村民たちが黒焦げの遺体の散乱する岸下に降り、真暗の中、生存する遭難者を背負い、或は自分の体にくくり付けて崖を昇って運んだ。
8. 並行して遺体の引き上げも行われ、239遺体を茶毘に付している。
9. 数えきれない程の見たこともない偉人達を、村長の総指揮に従って、誰もが必死に介護を意図も平然として全力を絞って黙々と坦々とやり遂げてゆく。そこには理論や理屈では到底表現することができない長い歴史の中で育まれた日本民族の神髄にして計り知れない崇高な精神が脈々と生きていた
10. 最終的に生存者は士官6名、水兵63名。明治天皇の深い配慮により、我が帝国海軍の巡洋艦「比叡」「金剛」は神戸を出航イスタンブールまで送り届けられた。

時は流れ、あれから95年後トルコが日本へ恩返しをする時がやって来る。1985年イランイラク戦争真っ只中、サダム・フセインはイラン上空を飛ぶ航空機は軍・民間機問わず全て撃ち落とすと宣言。当時テヘラン空港には200人を超す邦人が取り残され失意の底にあったが、トルコのオザル首相の英断によって予告攻撃時間2時間前にテヘランから脱出、イスタンブールに降り立つことができた。脱出劇を成功裡に終了させたオザル首相は執務室で呟いたのが印象的であった。“誇り高き市民に支えられて生きている私は大変幸せ者だ”<トルコ人は何故親日家なの？>その要因

1. エルトゥールル号の救出劇1890年

現代人が何故この話を知っている？今現在も小学校の教科書すべてにこの話が載っている<教育>これが原点 **感謝の念**

2. 17世紀以降、宿敵ロシアとは12回も戦ってきて過酷な領土侵略を受けている。その宿敵とアジアの小国日本が戦って勝利した。<1905年日露戦争> **痛快事**

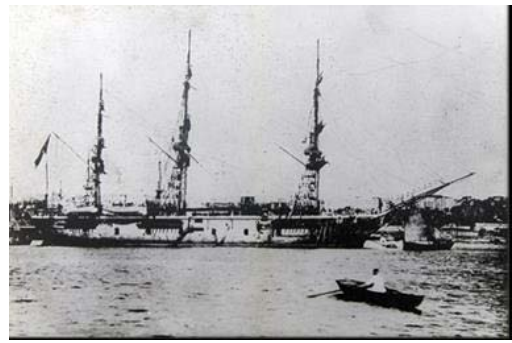
3. 第二次世界大戦後 焦土の中から復興 世界の大国へ躍進 **敬意の念**

4. テヘランからの脱出をトルコが救援成功 1985年 **恩に報いた**

両国間の絆

平成23年3月11日発生した大震災以来、間もなく5年を超えようとしている。この間、人々の間では「絆」なる言葉が氾濫し、使用頻度が多くなり、今も相変わらず大きな変化もなく使われ続けているようである。「絆」の示す意味は「断つにしのびない恩愛」「離れ難い情実」であるという。であるので、このような現象や事例は平素我々の周辺にいくらでも転がっているような話ではない。

故に我々はこれらの事象や場面に頻繁には遭遇していないのが現状である。日本トルコ2国間に於いて長年に亘り、度重なる友情親善関係が自然に蓄積され凝結されたものなどは「絆」と呼ばれるに相応しい類のものだと思う。素晴らしい言葉であるが故に軽々に発することなく、大切に扱いたいものである。



★幹事報告

忽滑谷明幹事

第7回定例理事会

<協議事項>

1. 3月のプログラムについて関谷委員長より発表後承認 (3/10は移動例会, 3/24は3/27の地区大会に振替)
2. クリスマス会会計報告について、関谷委員長より説明後承認
3. 社会奉仕部門より要請があった交通安全登旗の作成について、各事業所1本以上購入する事とするを決定承認

<報告事項>

1. 1/18(月)第3GIM実行委員会は忽滑谷幹事出席予定
2. 1/23(土)RLIセミナーパートⅢ 粕谷会長、関谷出席予定
3. 2/7(日)クラブ奉仕部門セミナー第三回 関谷会員出席予定
4. 1/7(木)入間基地新年賀詞交歓会 粕谷会長出席予定
5. 1/13(水)入間市商工会賀詞交歓会 粕谷会長出席予定
6. 1/19(火)入間青年会議所賀詞交歓会 粕谷会長出席予定
7. 1/21(木)入間万燈まつり決算監査会 西山エレクト出席予定
8. 1/25(月)入間社会福祉協議会 友野会員出席予定
9. 1/26(火)入間市国際交流協会理事会 水村会員出席予定
10. 2/18(木)地域交流研修会 粕谷会長 忽滑谷幹事、西山エレクト出席予定
11. 1月のロータリーレート1\$=¥120

<お願い事項>

後期分会費納入を早めをお願いいたします。

★委員長報告

プログラム委員会

木下登委員長

3月のプログラムは、3日講師卓話 佐々木ナオコ様「ロータリー財団について」。10日ロータリー美術館「葦崎大村美術館」。17日会員卓話 忽滑谷明部門委員長。24日地区大会 3/27に振替。31日第4回クラブ協議会。

社会奉仕委員会

滝沢文夫委員長

昨年末にお話しさせていただきました、春と夏の交通安全運動期間に使われます、交通安全のノボリ旗のご協力について再度お知らせいたします。皆様の事業参加費より一本分1350円を引かせていただきます。それでは少ないと思いますので、各事業所様で追加のご協力していただける用紙を次回例会に回覧いたしますのでご協力よろしくお願いいたします。

《2月プログラム》

	内容
4日	卓話 米山奨学生 ブィ・クイン・チャン様
11日	クラブ定款第6条第2節(C)により 例会取り止め
18日	長徳寺 座禅例会 馬路宏樹会員
25日	2/27(土) IMに振り替え

<出席報告>

馬路宏樹委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
41名	29名	72.5%	86.8%

事前欠席連絡 6名

<ニコニコBOX>

晝間和弘SAA

平岡達也様～長い間お世話になりました。
忽滑谷明君～新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りいたします。

齋藤栄作君～お陰様で営業区域に千葉県が加わりました。

後藤健君～皆様にご支援いただき3度の一回目例会を迎えることができました。ありがとうございます。

晝間和弘君～箱根駅伝で青学が2年連続優勝できました。

本日¥67,896 累計¥528,896

■回覧、配布物

- ① ガバナー月信 2016年1月号
- ② R I 日本事務局財団室 News2016年1月号
- ③ 2016年ロータリー国際大会ご案内と申込み
- ④ 航空自衛隊入間基地山本祐一様からの年賀状
- ⑤ 1/28 新年会出欠表
- ⑥ 3/27 地区大会(2日目本会議)出欠表
- ⑦ 本日の卓話資料
- ⑧ 入間RC週報25号



RI2570 地区1・2月の粕谷会長スケジュール 2015～2016年度

2016年1月			2016年2月		
日	曜	事業などの内容	日	曜	事業などの内容
7	木	入間基地新年賀詞交歓会	18	木	地域交流研修会
13	水	入間市商工会賀詞交歓会			
19	火	入間青年会議所賀詞交歓会			
23	土	RLIセミナーパートIII			

発行 入間ロータリークラブ

■事務所 〒358-0023 入間市扇台3-3-7 ハイッ斎竹101号 TEL 04-2964-1700 FAX 04-2965-5788 Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場 丸広百貨店入間店6Fバンケットホール TEL 04-2963-1111 ■例会日 木曜日12:30～13:30

■編集委員: 岩崎茂 山岸義弘 吉永章子 豊田義継

